

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和7年度第7回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和8年1月30日(金) 午前10時00分 ~ 午前11時00分
開催方法	公室
出席者氏名	委員長 佐藤 徹 (Web参加) 副委員長 長野 基 委員 青山 裕之 委員 溝上 西二 委員 宮崎 仁美 委員 悴田 康二 委員 古賀 麻明利
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	企画財政部 渡邊部長 山下次長 共創企画課 渡辺課長 北田副主幹 藤田主任
議 題	(1) 令和7年度外部評価報告書(案)について (2) 今後の外部評価の方向性等について
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第 令和7年度外部評価報告書(案) 【巻末資料 資料1】答申書 【巻末資料 資料2】戸田市外部評価委員会委員名簿 【巻末資料 資料3】令和7年度戸田市外部評価委員会会議録 「行政評価制度の改善等に関すること」に係る今後の方向性について

( 会議の経過 )

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>本日は、先日の答申に対する各部局の行動計画に関する確認及び今後の外部評価の方向性についての検討が議題である。円滑な進行のため、委員各位の協力をお願いしたい。</p>
事務局	<p>3 議 事</p> <p>○令和7年度外部評価報告書(案)について</p> <p>資料に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員一同	<p>なし</p>
事務局	<p>○「行政評価制度の改善等に関すること」に係る今後の方向性について</p> <p>資料に基づき、事務局が説明を行った。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員	<p>外部評価結果において、指標の妥当性が「A 妥当である」と評価された施策はなく、全て「B 改善(小)」と評価されており、大きな問題だと考える。施策によって、アウトプット指標とアウトカム指標が混在しており、評価がしづらい。指標が明確でない限りは、外部評価としてのチェック機能が果たせないため、指標を整理してほしい。</p>
事務局	<p>施策指標に関する各委員からの意見に対しては、各部局が検討の上、行動計画を作成した。令和8年度を始期とする第5次戸田市総合振興計画後期基本計画の策定においては、各部局と調整の上、施策指標の改善を行っている。なお、第5次戸田市総合振興計画後期基本計画は、令和8年4月に公表予定</p>

	<p>である。</p> <p>4 これまでの振り返り</p> <p>戸田市の外部評価の特徴は、様々な立場からの多角的評価が行われている点である。学術、財務、経営等の分野の委員の専門的な視点に加えて、市民委員からは受益者目線で貴重な意見があった。外部評価の最終的な成果は、アウトプットとしての評価することではなく、アウトカムである市民サービスの向上、更には住民福祉の増進である。2年間の短い期間であったが、今後もそれぞれの観点から戸田市のまちづくりに注目をしてほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員</p> <p>施策の点検評価については、大きく分けて2つのフィードバックがあり、1つは資源の配分の変化であり、もう1つは市のイメージや信頼の変化である。後者については、行政自身のみならず市民において、行政の取組の認識・イメージが変わり、ひいては、行政への信頼（トラスト）が変わることにつながり、大切なポイントである。</p> <p>施策指標等、外部評価によって変わった点については、Before-after を分かりやすく示した資料を作成すると、まさにフィードバックとしてよいと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>委員</p> <p>外部評価委員として幅広く行政の施策に携わるのは初めて経験であり、大変勉強になった。委員会の運営に関し、委員長、副委員長をはじめ、皆様に感謝申し上げます。財務的な視点の必要性から、今後も公認会計士を上手く活用してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>委員</p> <p>戸田市内には約5,000の商工業があり、その内約3,000の商工業が戸田市商工会に加盟している。戸田市の経済の活性化のためには、行政による更なる経営支援が必要であると思う。</p> <p>戸田市におけるまちづくり等の会議体にも参加する中で、部署によって意見の相違が感じられることもあるため、行政の縦割りは改善してほしい。</p> <p>また、戸田市議会議員に対しても、外部評価を積極的に発信してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>委員</p> <p>戸田市は福祉・教育に力を注いでいると感じているので、今後更に充実さ</p>

<p>委員</p>	<p>せることで、安心して、長く住みたいと思えるまちにしてほしい。</p> <p>戸田市の生活者として本委員会に参加した。司法・立法・行政の三権のうち、行政が生活を作っていると考えている。行政は住民の生活全般に関わっており、もっと議論を重ねて、行政が要望する形で司法・立法を変えていかないといけない。</p> <p>また、戸田駅前ロータリーが機能的でないように感じる。現在、北戸田駅前の開発も進めていると思うが、実際に利用している住民や事業者と議論を重ねるべきである。</p> <p>加えて、戸田市内には多くの自転車専用道があるが、自転車走行者の1割程度しか使用していないように見受けられる。要因分析や費用対効果を踏まえて、インフラの維持整備を再考してほしい。</p> <p>結果的に不便なものが出来上がった場合、税金の無駄遣いと言える。行政は問題意識を持ち、自分事として議論を尽くしてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>長年住んできた戸田市に還元・貢献すべく市民委員として参加してきたが、大変勉強になった。市民視点で考えているつもりでも、施策の評価指標が供給者視点になっているとの指摘によって、頭を切り替えることがあった。ロジック・モデルを活用する点で、入口の視点が異なると結果も異なることになる。受益者視点で考える重要性を感じた。</p>
<p>事務局</p>	<p>外部評価委員会からいただいた意見を、施策としていかに形にできるかが大事である。</p> <p>最近、部局横断的な対応が必要な事案が増えている。また、まちづくりは時間がかかることが多く、現状や将来的な展望も含めて市民への説明責任を果たす必要があることを改めて強く感じている。</p> <p>皆様からいただいた意見については、各部局に対してただ伝えるだけではなく、今後の施策に活かせるような形にする必要がある。</p> <p>2年間にわたりご尽力いただき、感謝申し上げます。</p> <p>5 閉 会</p>